



久中だより

16

いわき市立久之浜中学校通信

No.16

平成28年5月19日発行

体力・運動能力の現状を知るために毎年、実施している体力テストの様子です。「より早く、より遠く、より多く」を目指して、子供たちは各種目に挑戦しています。



放課後、大粒の汗を流しながら懸命に練習に励む部員たちの姿が体育館でも校庭でも見られます。互いの動きを確認し、励まし合う声も聞こえてきます。中学校での生活に潤いと活気をもたらしてくれるものの一つとして、部活動は位置づけられており、運動部の活動を通して、たくましい身体づくりも推進することができます。

震災後、福島県の子供たちの体力・運動能力の低下が懸念されているため、本校では、運動に親しむための様々な取り組みを実践しています。

今年度は、楽しく身体を動かすための運動プログラムを紹介する「身体づくり講座」を5月25日(水)の午後に予定しています。

中学校の3年間は、心と身体の成長の著しい時期です。特に身体は大人の体格に近づき将来の

生活を支える基盤ともなります。「自分手帳」を積極的に活用するとともに、このようなイベントや保健体育の授業、運動部活動などを通して、健康でたくましい身体づくりが促されるように努めていきます。

また、中学生の時期は、思春期の初期にあたり、学校や家庭での生活で様々な悩みを抱いたり、時には不適応を起こしたりすることがあります。大人になる過程で誰もがたどる道です。

悩みや不適応という「心の壁」にぶつかった時、適切に解決する術を身に付けることが大切ですが、なかなか思うようにいかないのも事実です。そのような時は、スクールカウンセラーの大川翔先生に相談してみることをお奨めします。

なお、保護者の方の子育ての相談にも応じますので気軽に声をかけてください。

たくましい心と身体をつくれます

家庭や地域と共に子供を育てます

5月9日(月)から13日(金)にかけて学級担任が家庭訪問をしました。生徒が家庭において、どのような生活をしているのかを知ったり、通学ルートに危険箇所がないかを確認したりすることは、教育に携わる者にとって、とても重要なことです。

おかげさまで、それぞれの生徒の有益な情報を得ることができました。忙しい中、時間をつくっていただいた保護者の方に感謝申し上げます。

さて、久之浜地区では、かねてから小学校2校と本校とで小中連携推進事業に取り組み、大きな成果をあげています。

義務教育9年間を大きなくりとして捉え、学校と家庭・地域が連携して地域の子供たちの健やかな成長を支援していく基盤がつくられています。

今後とも、知・徳・体のバランスのとれた子供たちを育むため連携・協力して教育を推進していきます。

5月2日(月)に避難訓練を行いました。

「巨大地震が発生した後、家庭科室から出火」との想定のもとに避難訓練を実施しました。地震発生時は、「落ちてこない。倒れてこない。動いてこない。」場所に身をひそめ、火事の際は、迅速に身を低く煙を吸い込まないように避難することを確認しました。

さらに、各学級から数名の生徒が、救助袋を使用して3階からの避難訓練を行いました。3階から見下ろす地上は、足がすくむほど高く、恐怖心があったようですが、男女とも消防署の方のご指導のもと無事に脱出できました。

ところで、自然には二面性があります。豊かな恵みを与えてくれる半面、災害ももたらします。私たちは、自然環境と共存しながら、いざという時に、自ら判断し、自他の生命を守る行動ができる資質や能力を身に付ける必要があることを説きました。



救助袋による3階からの避難訓練の様子



生徒会総会・熊本地震義援金募金も行いました！

5月6日(金)6校時に生徒会総会を行いました。前年度後期の反省を踏まえて今年度前期の活動計画等について協議しました。「協力」「勤勉」「飛躍」という校訓を実現させるために全校生で各常任委員会の活動を積極的に推進してほしいと思います。

なお、生徒会を中心に熊本地震で被災された方々に義援金を募ったところ、4月26日(火)から28日(木)までの3日間で45,326円の協力がありました。義援金は、日本赤十字社を通じて、被災地へ送金していただくよう手配しました。ご協力ありがとうございました。

【教育目標】

進んで学習に励み、学力の向上を目指す生徒
心身ともに健康で、たくましい生徒
礼儀正しく、心豊かな生徒



【校訓】

協力
勤勉
飛躍

福島県いわき市立久之浜中学校

〒979-0333

福島県いわき市久之浜町久之浜字大場69番地

TEL 0246-82-3021

FAX 0246-82-3026

E-mail: hisanohama-jh@city.iwaki.fukushima.jp